

優しく強い子に！



<http://www.minamih.net/>
21・4・3(土)
南NEWS no 4

勉強もサッカーも自分のめあてをもって努力して自分を育てる子、チームのめあてをもって育ち合う子、自分で判断し選択できる子、そのために本を読む子、自宅学習のできる子、目を見て話を聴くことができる子、あいさつ、お礼、返事のしっかりできる子、言える子が育つように子育てのお手伝いをします。

地域の大人、お兄さんがボランティアで指導するクラブ、南八王子サッカークラブです。子どもたちを輪の中心にして、お家の人や役員さん、後援会のみなさんの応援・ご協力を得ながら、“できる人ができる範囲で”“やれる人がやれる範囲で”を原則に、報連相を大切に、仲良く、楽しく活動していきましょう。

灰谷さんは発言しています

…人間は心と体を持つ動物です。心と体の対話のできる唯一の動物かもしれない。つまり、心と体で感じて知るといふ、もう一つの賢くなる道を持っています。思いやりと優しさは、こちらの方でつくられていくものでしょう。…

心と体で感じて知り、つくられる、賢くなる道、思いやりと優しさは正に南が願い、目標としているところです。灰谷さんの嬉しい発言です。

灰谷さんのお話を八王子の労政会館で聴いたことがあります。大好きで尊敬している灰谷さん。『点の瞳』の続編を読みたいのですが、それは叶いません。

『灰谷健次郎の発言』〈3〉子どもが生きる 岩波書店

p 141～142

知識は人間や人間関係のしあわせのために生かされて、はじめて意味を持ちます。

あらかじめ用意した知識を詰め込めるだけ詰め込む、というのは教育でも何でもない。それを競わせて、人間の優劣をつけるというのは、これはもう犯罪に近い、と私は思います。

人がものを知って賢くなっていく道は二つありますね。人間は考える動物ですから、考えることによって知る、ということが一つある。知ったことは知識となります。

その知識の上にさらに堅固の知識を積み重ねていく。人は、そうして機械文明というものを発達させてきました。

入学・進級、おめでとうございます

八王子市内では4月6日に始業式と入学式が行われます。新しい学校、学年、クラスで、子どもたちは夢や希望を胸にスタートを切ることでしょう。

南八王子サッカークラブも1978年2月創立以来44年目を迎え、1期生が77年度卒なので、今年の6年生は45期生になります。

今年度も

どの子もサッカーを楽しむ中で

“友を思いやる優しさ”

“やらなければいけないことをやり抜く強さ”

をもつ子に育ててほしいとの願い・目標をかかげてクラブの運営・活動をしていきます。

3年生までは“だんごサッカー”、“原則どの子も試合の半分は出す”“失敗を怒ることなく、トライしたことを認め励ましていく、小さな進歩でも誉めて自尊・他尊の感情を育む”ことを大切にしていきます。



人間は心と体を持つ動物です。心と体の対話のできる唯一の動物かもしれない。

つまり、心と体で感じて知るといふ、もう一つの賢くなる道を持っています。

思いやりと優しさは、こちらの方でつくられていくものでしょう。

この二つは車の両輪のように、共に回って、はじめて人は、人として成長していくのだと思います。

この二つの部分というか世界が、教育です。

非常に厳しい言い方をすると、今の教育の総体では、教育の入り口の部分にも入ってきていないということがいえると思います。

知識を記憶させるだけで、それを元に、考えるということをしていないのに等しいのですから。

だから一日一時間でも早く、現代の学校教育が、人が賢くなっていく、この二つの世界へ、入ってきてもらわなくてはなりません。

この二つがうまく回っていない、というのは世界的な傾向ではないでしょうか。

人間は機械文明を発達させて、核もミサイルも手に入れました。

しかし、そういうものを使えば、なんの罪もない、無抵抗の子どもの血まで流されるという想像力が、世界の指導者の中に希薄になってきている事実が動かしがたいこととしてありますね。

生命の尊厳は、教育の核なんです。

彼らも、また十分な教育を受けてこなかった、といえるのかもしれませんが。

始まるよ！！

U-12 Bブロックリーグ

4月17日〈土〉 文化大G

① 9：30～ 横川MYFC — 南八王子

② 10：40～ AFCとうよう — 南八王子

③ 11：50＝ 横川myfc — AFCとうよう

4月24日(土) 文化大G

① 9：30～ 松が谷 — 南八王子

② 10：40～ リトルウイング — 南八王子

③ 11：50～ 松が谷 — リトルウイング



インターバルは25分です。コロナ対策、よろしくお願ひいたします。

8：30には入場できます。

車は4台

拙宅の塀にすうっと咲いてくれた花です。可憐な花です。何という名前なのでしょう。



